

Ⅱ 調査結果の概要

[学校調査・学校通信教育調査]

1 幼稚園

(1) 幼稚園数

・ 幼稚園数は 511 園（本園 506 園、分園 5 園）で、前年度に比べ 4 園減少した。

・ 設置者別にみると、国立 1 園、公立 266 園、私立 244 園となっている。

(2) 学級数

・ 学級数は 2,802 学級で、前年度に比べ 2 学級減少した。

・ 1 学級当たりの園児数は 22.2 人で、前年度に比べ 0.1 人増加した。

(3) 園児数

・ 園児数は 62,201 人（男 31,527 人、女 30,674 人）で、前年度に比べ 94 人増加した。

・ 年齢別にみると、3 歳児が 19,876 人、4 歳児が 21,204 人、5 歳児が 21,121 人となっている。

・ 設置者別にみると、国立 127 人、公立 21,578 人、私立 40,496 人となっている。

・ 定員充足率は、公立幼稚園で 58.5%（前年度に比べ 0.9 ポイント上昇）、私立幼稚園で 72.8%（同 0.2 ポイント上昇）となっている。

図1 園数、園児数、教員数の推移

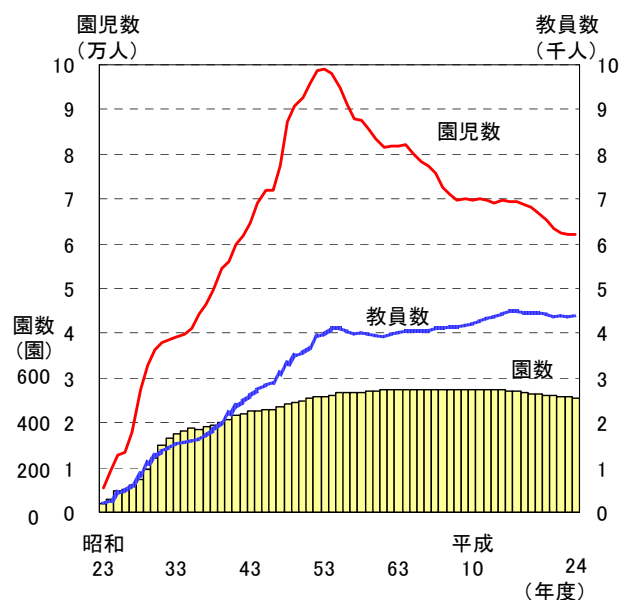
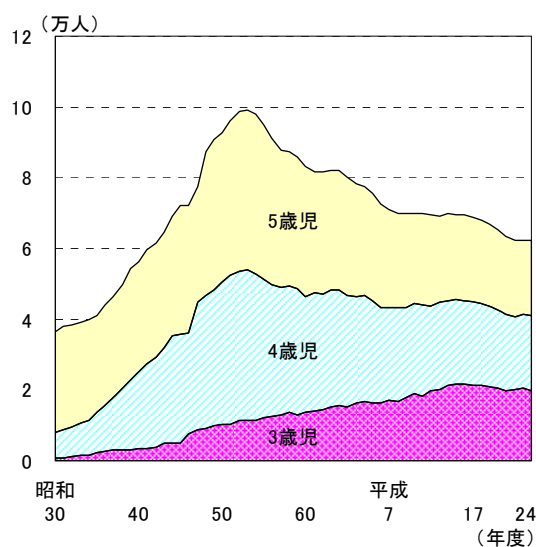


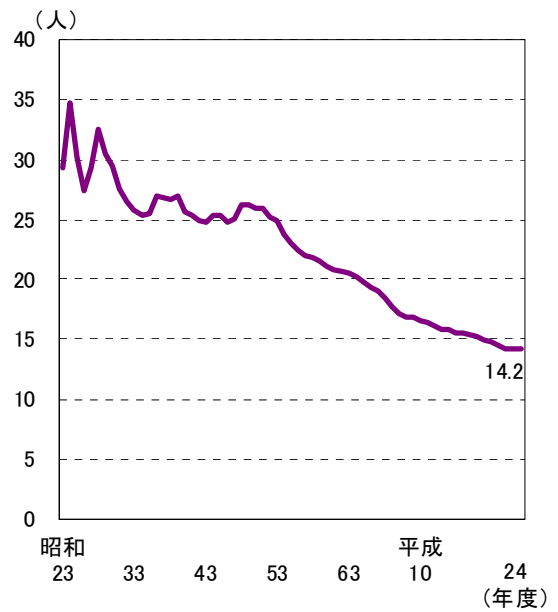
図2 園児数の推移(年齢別)



(4) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は4,394人（男 237人、女 4,157人）で、前年度に比べ17人増加した。
- ・ 女性教員の占める割合は94.6%で、前年度より0.1ポイント上昇した。
- ・ 本務教員1人当たりの園児数は14.2人（全国14.5人）で、前年度と同じであった。設置者別にみると、公立12.9人、私立15.0人となっている。

図3 本務教員1人当たりの園児数の推移



2 小学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は523校（本校518校、分校5校）で、前年度に比べ2校減少した。設置者別にみると、国立2校、公立517校、私立4校となっている。
- ・ 特別支援学級（旧75条学級）を置く学校数は279校で、前年度と同数であった。

(2) 学級数

- ・ 学級数は7,647学級で、前年度に比べ74学級増加した。
- ・ 特別支援学級数は549学級で、前年度に比べ12学級増加し、全学級数に占める割合は7.2%となっている。複式学級は90学級で、前年度に比べ2学級増加した。
- ・ 1学級当たりの児童数は26.8人（全国24.6人）で、前年度より0.8人減少した。

(3) 児童数

- ・ 児童数は205,222人（男105,575人、女99,647人）で、前年度に比べ3,704人減少した。
- ・ 設置者別にみると、国立1,122人、公立202,816人、私立1,284人となっている。
- ・ 第1学年の児童数に対する幼稚園修了者の比率は64.1%（全国55.1%）で、前年度に比べ0.6ポイント低下した。

図4 学校数、児童数、教員数の推移

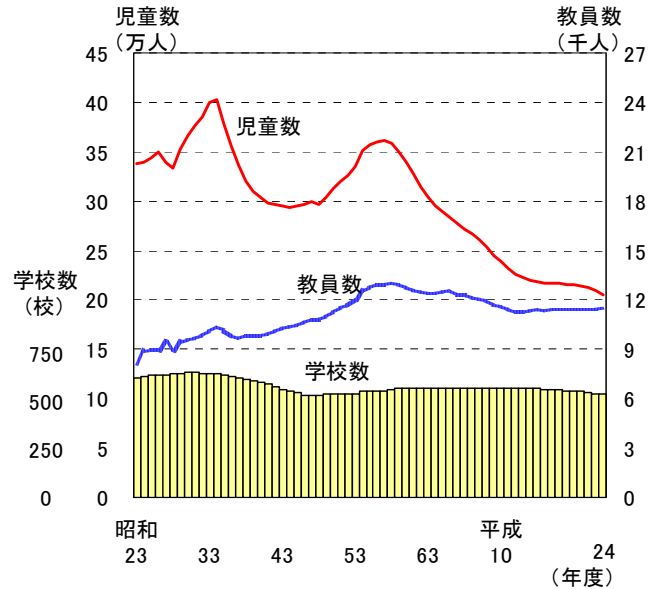
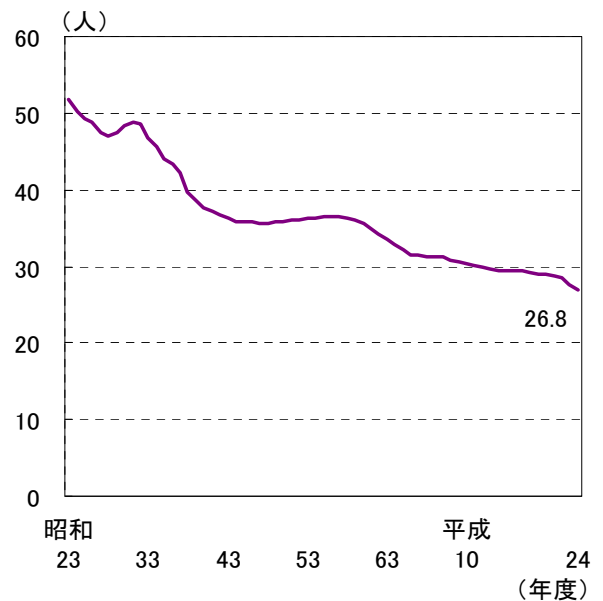


図5 1学級当たりの児童数の推移



- 平成 23 年度間の帰国児童数は 278 人で、前年度に比べ 51 人増加した。

- 外国人児童数は 2,481 人で、前年度に比べ 52 人減少した。全児童に占める割合は 1.2% となっている。

(4) 教員数

- 教員数（本務者）は 11,466 人（男 4,647 人、女 6,819 人）で、前年度に比べ 16 人増加した。

- 女性教員の占める割合は 59.5% (全国 62.7%) で、前年度と同じであった。

(5) 長期欠席者数

- 平成 23 年度間の長期欠席者数は 1,395 人で、前年度に比べ 84 人増加した。

- 理由別にみると、最も多いのが「不登校」の 62.6%、次いで「病気」が 23.1% となっており、前年度に比べ「不登校」の割合は 2.7 ポイント低下し、「病気」の割合は 0.6 ポイント上昇した。

- 児童 1,000 人当たりの長期欠席者数は 6.7 人（全国 7.9 人）で、前年度に比べ 0.5 人増加した。そのうち「不登校」によるものは 4.2 人となっている。

図6 帰国児童、外国人児童数の推移

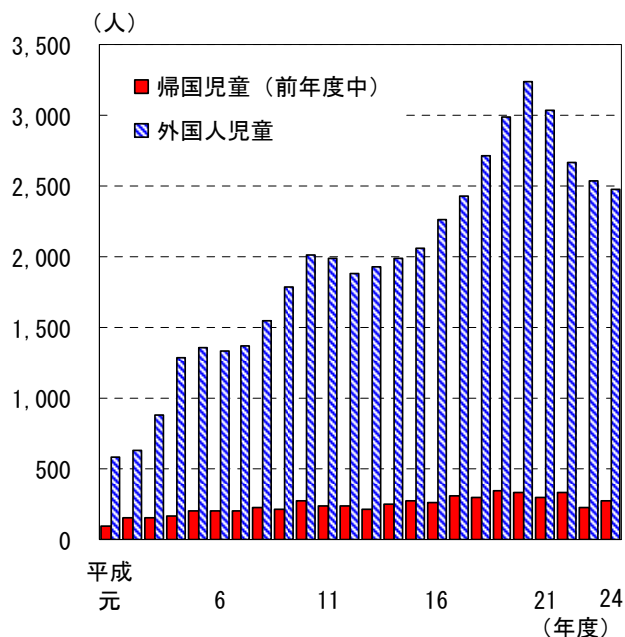
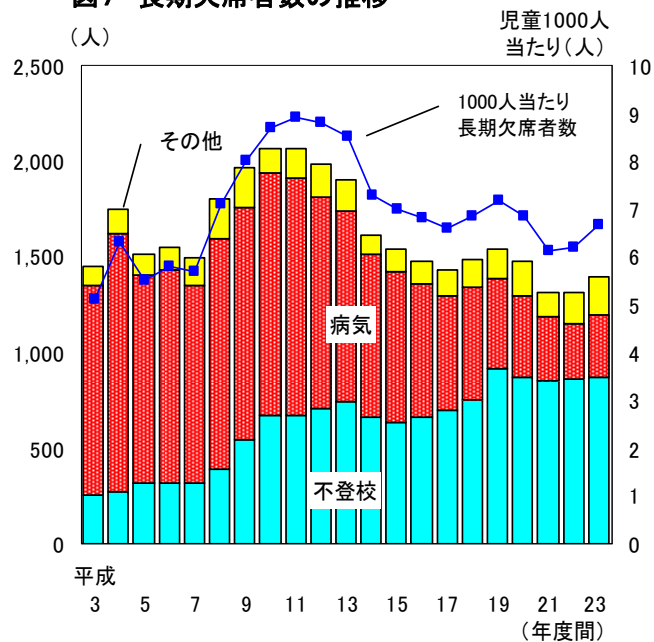


図7 長期欠席者数の推移



3 中学校

(1) 学校数

- 学校数は 295 校（本校 294 校、分校 1 校）で、前年度と同数であった。設置者別にみると、国立 3 校、公立 265 校、私立 27 校となっている。
- 特別支援学級を置く学校は 159 校で、前年度に比べ 4 校増加した。

(2) 学級数

- 学級数は 3,693 学級で、前年度に比べ 13 学級増加した。
- 特別支援学級数は 294 学級で、前年度に比べ 20 学級増加した。全学級数に占める割合は 8.0%となっている。
- 1 学級当たりの生徒数は 29.0 人（全国 29.0 人）で、前年度に比べ 0.2 人減少した。

(3) 生徒数

- 生徒数は 106,995 人（男 54,800 人、女 52,195 人）で、前年度に比べ 567 人減少した。
- 設置者別にみると、国立 1,191 人、公立 100,997 人、私立 4,807 人となっている。

図8 学校数、生徒数、教員数の推移

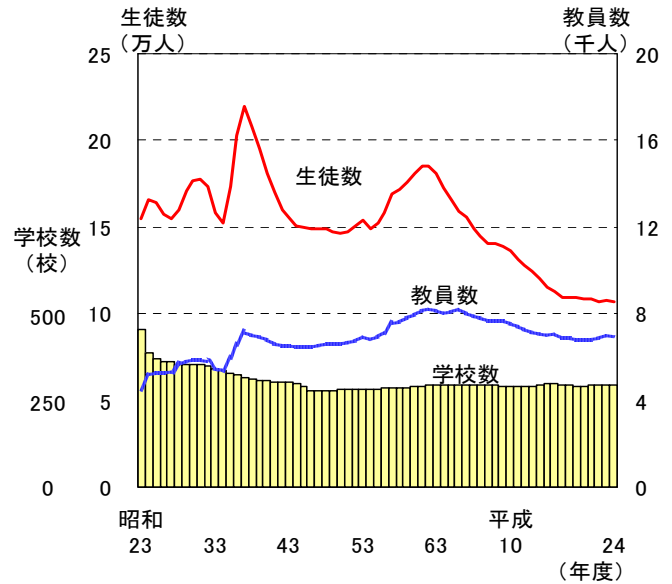
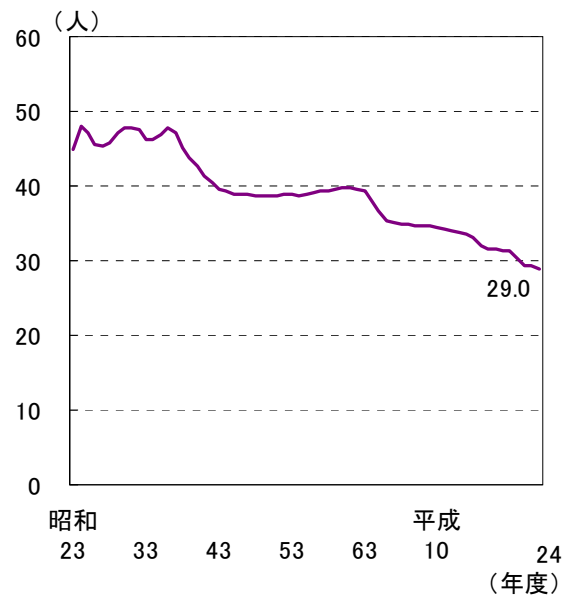


図9 1 学級当たりの生徒数の推移



- 平成 23 年度間の帰国生徒は 105 人で、前年度に比べ 14 人減少した。

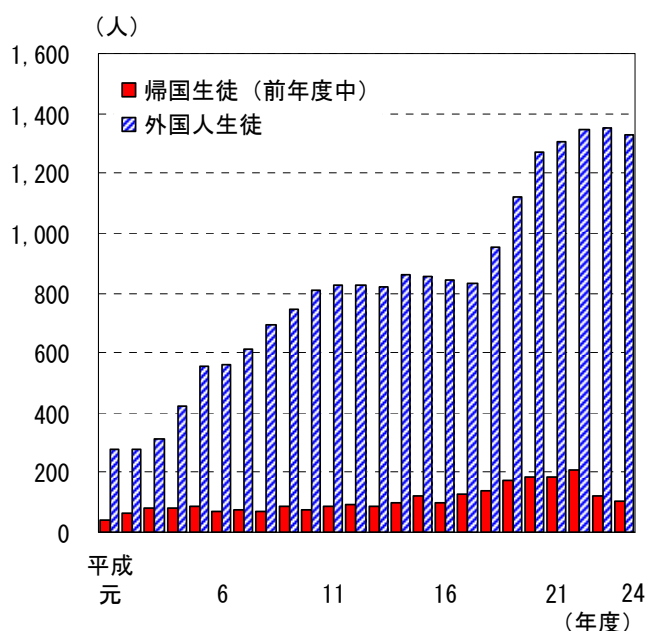
- 外国人生徒数は 1,331 人で、前年度に比べ 18 人減少し、全生徒数に占める割合は 1.2% となっている。

(4) 教員数

- 教員数（本務者）は 6,962 人（男 4,382 人、女 2,580 人）で、前年度に比べ 9 人減少した。

- 女性教員の占める割合は 37.1%（全国 42.3%）で、前年度に比べ 0.3 ポイント上昇した。

図10 帰国生徒、外国人生徒数の推移



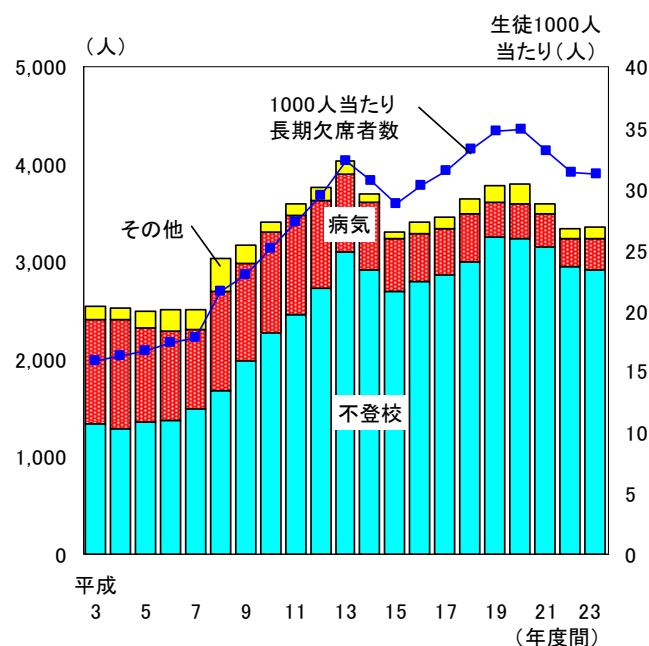
(5) 長期欠席者数

- 平成 23 年度間の長期欠席者数は 3,356 人で、前年度に比べ 15 人増加した。

- 理由別にみると、最も多いのが「不登校」の 86.7%、次いで「病気」が 9.9%となっており、前年度に比べ「不登校」の割合は 1.4 ポイント低下し、「病気」の割合は 1.0 ポイント上昇した。

- 生徒 1,000 人当たりの長期欠席者数は 31.2 人（全国 34.2 人）で、前年度に比べ 0.1 人減少した。そのうち「不登校」によるものは 27.0 人となっている。

図11 長期欠席者数の推移



4 高等学校

(全日制・定時制)

(1) 学校数

- ・ 学校数は144校（本校142校、分校2校）で、前年度と同数であった。
- ・ 設置者別にみると、公立101校（本校99校、分校2校）、私立43校（本校のみ）で、前年度と同数であった。
- ・ 課程別にみると、全日制課程のみを置く学校が123校、定時制課程のみを置く学校が2校、全日制・定時制の両課程を併置している学校が19校となっている。

(2) 小学科数

- ・ 小学科数（本科）は、全日制271学科、定時制21学科、計292学科となっている。
- ・ 学科別にみると、普通科が125学科で最も多く、次いで工業科57学科、商業科33学科、農業科20学科の順となっている。

* 小学科数は生徒が在籍している学科の数である。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は101,507人（男51,697人、女49,810人）で、前年度に比べ121人減少した。
- ・ 設置者別にみると、公立69,710人、私立31,797人となっている。

図12 学校数、生徒数、教員数の推移

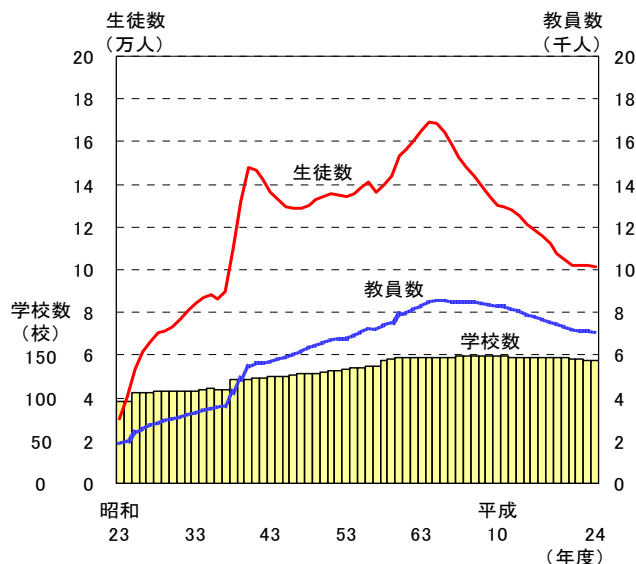


表1 学科別小学科数・生徒数(本科)

区分	小学科数	生徒数
普通科	125	69,519
農業科	20	2,494
工業科	57	7,693
商業科	33	9,343
水産科	4	472
家庭科	4	478
福祉科	6	678
総合学科	8	4,628
その他	35	6,181
計	292	101,486

- 全生徒数のうち本科の生徒数は 101,486 人で前年度に比べ 113 人減少した。

また、専攻科の生徒数は 21 人で、前年度より 8 人減少した。

- 本科の生徒数のうち、全日制課程の生徒数は 97,916 人で、前年度に比べ 94 人減少し、全日制課程の生徒数の占める割合は 96.5%となっている。

- 本科の生徒数のうち、定時制課程の生徒数は 3,570 人で、前年度に比べ 19 人減少した。

- 本科の生徒数を学科別にみると、普通科が 69,519 人（全体の 68.5%）で最も多く、次いで商業科 9,343 人（同 9.2%）、工業科 7,693 人（同 7.6%）、総合学科 4,628 人（同 4.6%）の順となっている。

- 平成 23 年度間の帰国生徒数（本科）は 55 人（公立 29 人、私立 26 人）で、前年度に比べ 10 人増加した。

- 外国人生徒数は、873 人（公立 645 人、私立 228 人）で、前年度に比べ 80 人増加した。

(4) 入学者数

- 本科の入学者数は 34,304 人（全日制課程 33,231 人、定時制課程 1,073 人）で、前年度に比べ 758 人増加した。

- 入学志願者に対する入学者の割合は、公立 89.9%、私立 34.3%となっている。

- 入学定員に対する入学者の割合は、公立 99.1%、私立 87.4%となっている。

図13 学科別生徒数(本科)

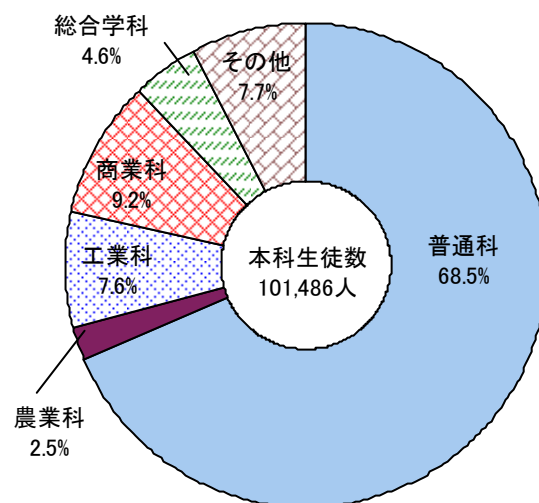
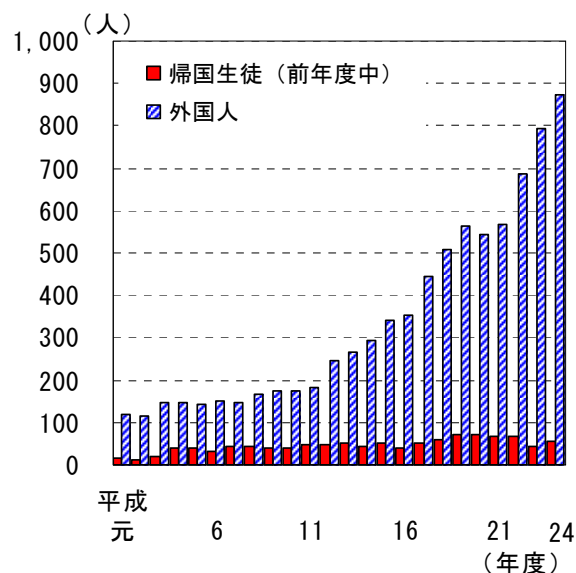


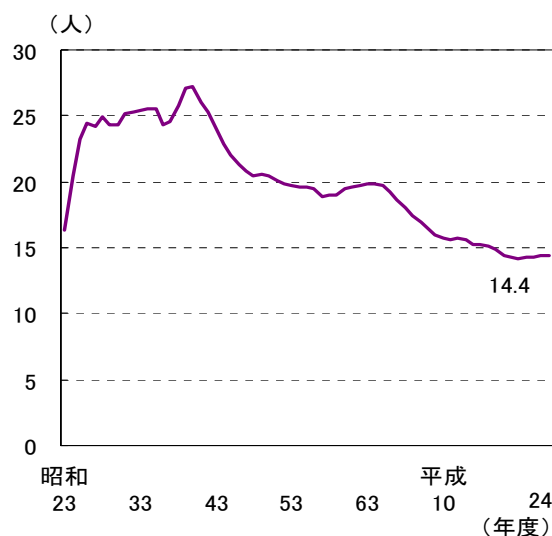
図14 帰国生徒、外国人生徒数の推移



(5) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 7,039 人（男 5,107 人、女 1,932 人）で、前年度に比べ 19 人減少した。
- ・ 女性教員の占める割合は 27.4%（全国 30.3%）で、前年度に比べ 0.4 ポイント上昇した。
- ・ 本務教員 1 人当たりの生徒数は 14.4 人（全国 14.1 人）で、前年度と同数となっている。

図15 本務教員 1 人当たりの生徒数の推移



(通信制)

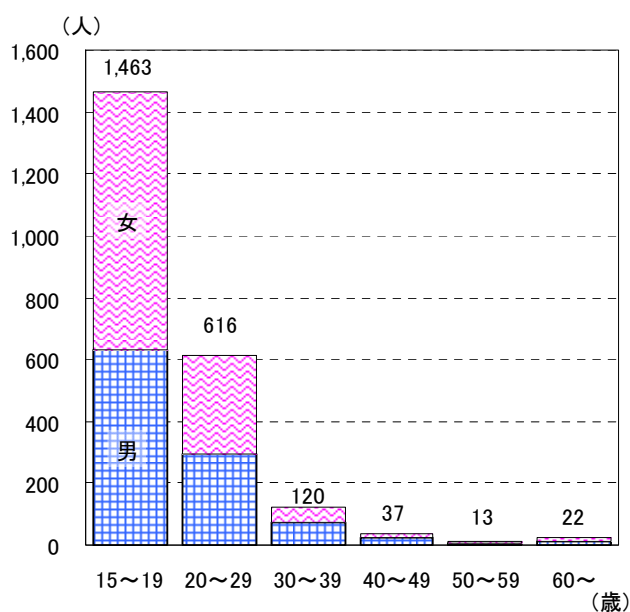
(1) 学校数

- ・ 学校数は 2 校（うち定時制と併置 1 校）で、前年度と同数となっている。

(2) 生徒数

- ・ 生徒数は 2,271 人（男 1,041 人、女 1,230 人）で、前年度に比べ 68 人減少した。
- ・ 年齢別にみると、10 歳代が全体の 64.4%で最も多く、20 歳代が 27.1%、30 歳代以上が 8.5%となっている。

図16 年齢別生徒数



(3) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 53 人で、前年度に比べ 2 人増加した。

5 特別支援学校

(1) 学校数

- 学校数は 35 校で、前年度と同数であった。

(2) 学級数

- 学級数は 1,109 学級で、前年度に比べ 44 学級増加した。

(3) 在学者数

- 在学者数は 4,525 人で、前年度に比べ 111 人増加した。

【内訳】	・ 幼稚部	34 人
	・ 小学部	1,627 人
	・ 中学部	1,009 人
	・ 高等部	1,855 人

(4) 教員数

- 教員数（本務者）は 2,374 人で、前年度に比べ 69 人増加した。

図17 学校数、生徒数、教員数の推移

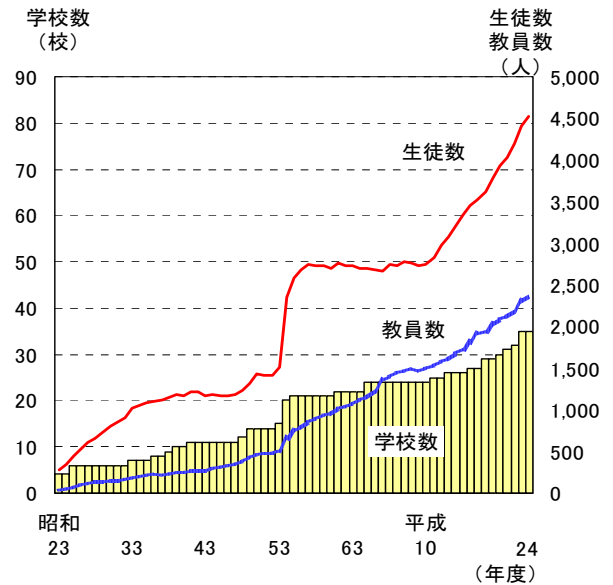
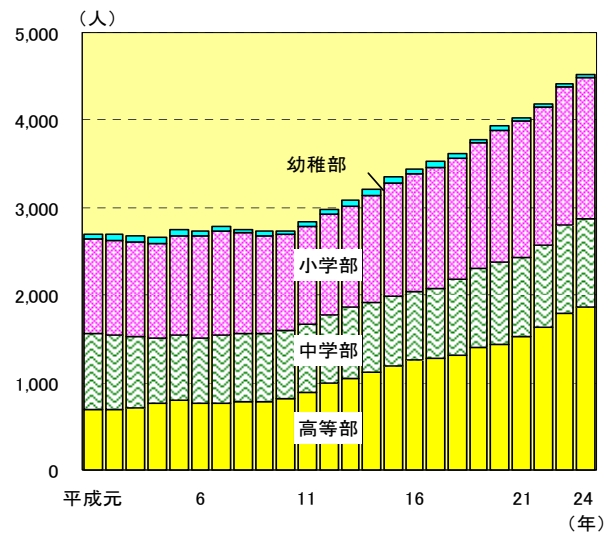


図18 児童・生徒数の推移



6 専修学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は 97 校で、前年度に比べ 2 校増加した。
- ・ 設置者別にみると、公立 10 校、私立 87 校となっている。

(2) 学科数

- ・ 学科数は、高等課程 19 学科、専門課程 196 学科、一般課程 14 学科、計 229 学科となっている。
- ・ 分野別にみると、医療関係が 44 学科で最も多く、次いで、商業実務関係 39 学科、工業関係 38 学科、文化・教養関係 37 学科、衛生関係 30 学科、服飾・家政関係 23 学科の順となっている。
- ・ 修業年限別にみると、1 年～1 年 11 か月が 32 学科、2 年～2 年 11 か月が 110 学科、3 年以上が 87 学科となっている。
- ・ 昼夜別にみると、昼の課程が 218 学科、夜及び昼夜の課程が 11 学科となっている。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は 13,863 人（高等課程 1,433 人、専門課程 11,753 人、一般課程 677 人）で、前年度に比べ 495 人増加した。
- ・ 全生徒数のうち、女子は 7,733 人で全体の 55.8%を占めている。

図19 学校数、生徒数、教員数の推移

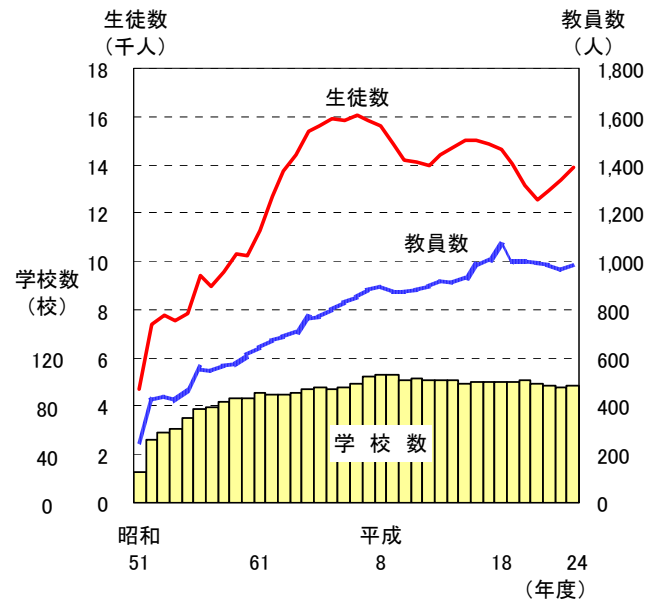
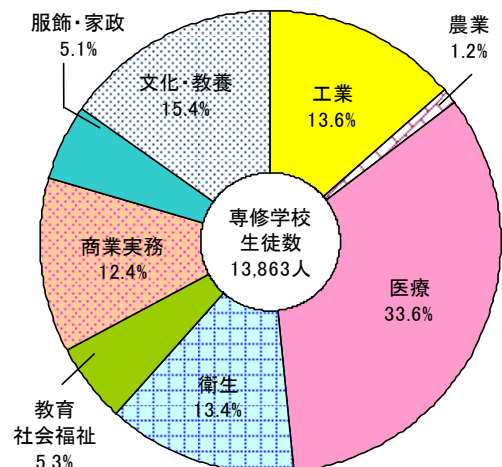


表2 分野別学科数・生徒数

区分	学科数	生徒数
工業	38	1,884
農業	6	172
医療	44	4,660
衛生	30	1,852
教育・社会福祉	12	736
商業実務	39	1,719
服飾・家政	23	703
文化・教養	37	2,137
計	229	13,863

図20 学科別生徒数割合



- ・ 学科別にみると、医療関係が最も多く 4,660 人で、次いで文化・教養関係 2,137 人、工業関係 1,884 人、衛生関係 1,852 人の順となっている。

(4) 入学者数

- ・ 本年 4 月 1 日から 5 月 1 日までの入学者数は 6,427 人(高等課程 579 人、専門課程 5,205 人、一般課程 643 人)で、前年度に比べ 569 人増加した。

- ・ 春期の入学定員に対する入学者の割合は、76.9%となっている。

(5) 卒業生数

- ・ 前年 4 月 1 日から本年 3 月 31 日までの卒業生数は 5,052 人(高等課程 454 人、専門課程 4,409 人、一般課程 189 人)で、前年度間に比べ 357 人増加した。

(6) 教員数

- ・ 教員数は、本務者 988 人(男 481 人、女 507 人)、兼務者 2,904 人(男 1,759 人、女 1,145 人)で、前年度に比べ本務者は 22 人、兼務者は 92 人増加した。

図21 学科別生徒数の推移

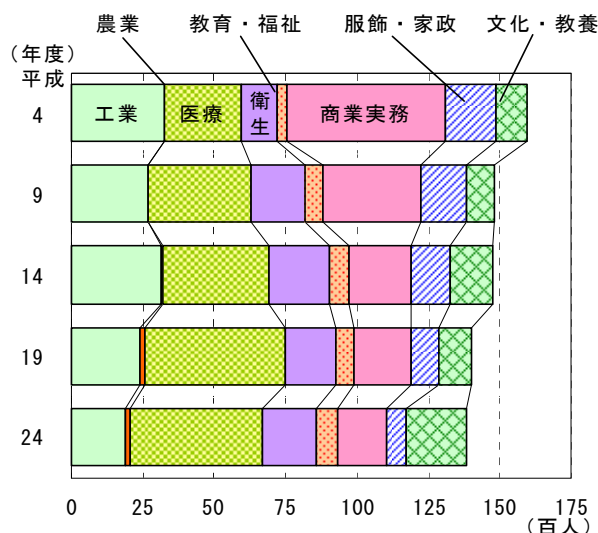
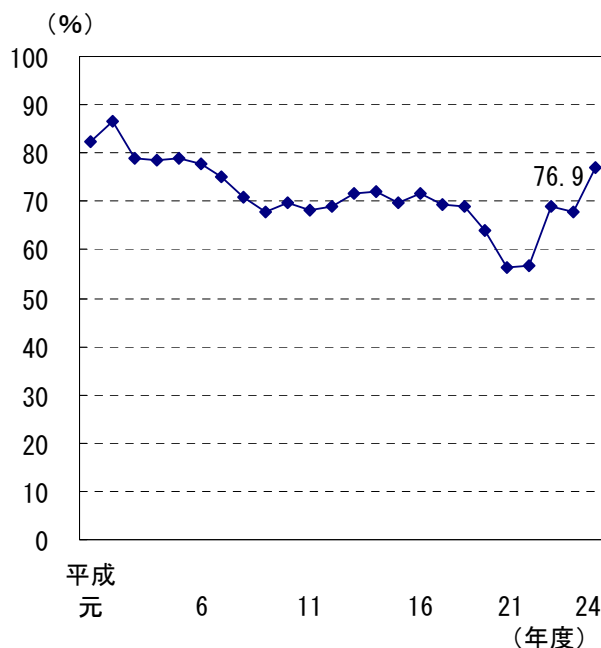


図22 春期入学者の定員充足率の推移



7 各種学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は 38 校（私立のみ）で、前年度に比べ 2 校減少した。

(2) 課程数

- ・ 課程数は、衛生関係 1 課程、商業実務関係 18 課程、家政関係 7 課程、文化・教養関係 4 課程、その他 11 課程、計 41 課程である。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は 1,684 人で、前年度に比べ 101 人減少した。最も多い学科は、商業実務関係の 723 人（全体の 42.9%）である。

(4) 入学者数

- ・ 本年 4 月 1 日から 5 月 1 日までの入学者は 291 人（男 137 人、女 154 人）で、前年度に比べ 17 人減少した。

(5) 卒業者数

- ・ 前年 4 月 1 日から本年 3 月 31 日までの卒業者は 459 人（男 201 人、女 258 人）で、前年度間に比べ 39 人減少した。

(6) 教員数

- ・ 教員数は、本務者 111 人（男 37 人、女 74 人）、兼務者 55 人（男 19 人、女 36 人）で、前年度に比べ本務者 14 人、兼務者は 2 人減少した。

図23 学校数、生徒数、教員数の推移

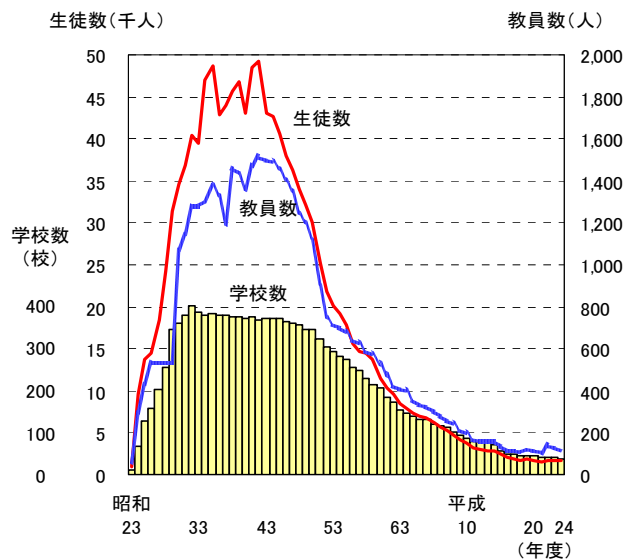
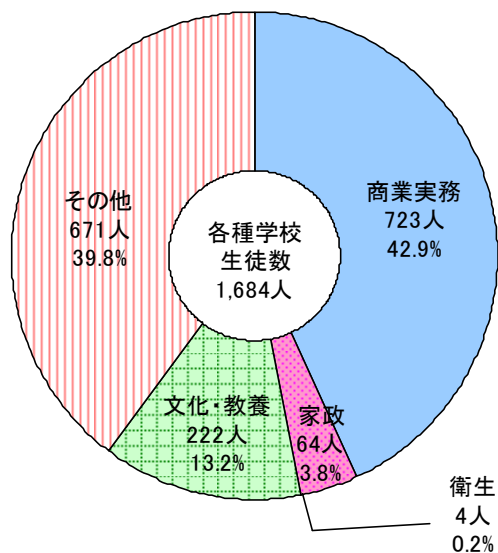


図24 学科別生徒数



[卒業後の状況調査]

1 中学校卒業後の状況

(1) 進路別卒業生数

- ・平成24年3月の中学校卒業生数は35,931人（男18,416人、女17,515人）で、前年に比べ768人増加した。
- ・高等学校等進学者は35,239人（男18,012人、女17,227人）で、前年に比べ849人増加した。
- ・専修学校及び各種学校への進学・入学者は104人（男57人、女47人）で、前年に比べ4人増加した。
- ・公共職業能力開発施設等入学者は13人（男12人、女1人）で、前年に比べ20人減少した。
- ・就職者数は、241人（男182人、女59人）で、前年に比べ11人増加した。なお、就職者数には、進学・入学しながら就職した者42人（男35人、女7人）を含んでいる。

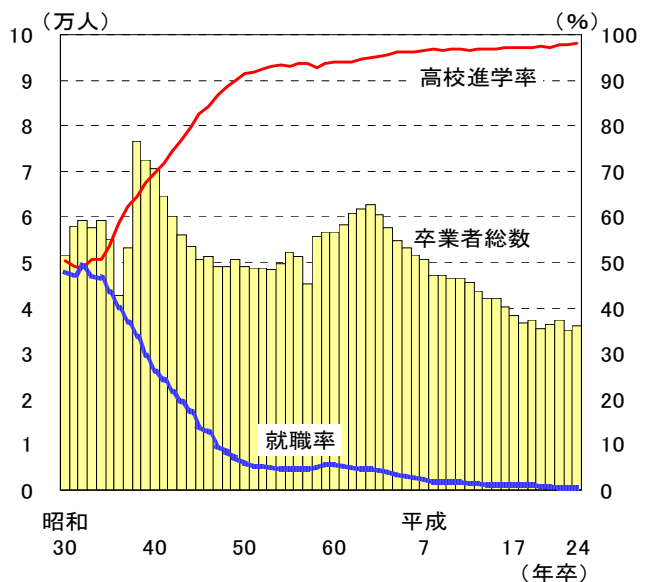
(2) 高等学校等進学率

- ・高等学校等進学率は98.1%（全国98.3%）で、前年に比べ0.3ポイント上昇した。男子の進学率は97.8%、女子は98.4%で、男子は前年に比べ0.4ポイント、女子も前年に比べ0.2ポイント上昇した。

(3) 就職率

- ・就職率は0.7%（全国0.4%）で、前年と同じであった。

図25 中学校卒業生数、高等学校等進学率及び就職率の推移



2 高等学校卒業後の状況

(全日制・定時制)

(1) 進路別卒業生数

・平成24年3月の高等学校卒業生数（全日制課程・定時制課程）は32,523人（男16,615人、女15,908人）で、前年に比べ640人増加した。

・大学等進学者は17,297人（男8,895人、女8,402人）で、前年に比べ64人増加した。

・専修学校（専門課程）進学者は5,444人（男2,106人、女3,338人）で、前年に比べ200人増加した。

・専修学校（一般課程）等入学者は900人（男536人、女364人）で、前年に比べ108人増加した。

・公共職業能力開発施設等入学者は147人（男135人、女12人）で、前年に比べ6人増加した。

・就職者数は、6,912人（男3,971人、女2,941人）で、前年に比べ206人増加した。なお、就職者数には、進学・入学しながら就職した者11人（男5人、女6人）を含んでいる。

・現役高校生の大学等進学率は53.2%（全国53.5%）で、前年に比べ0.9ポイント低下した。男子の進学率は53.5%（全国51.5%）、女子は52.8%（全国55.5%）で、前年に比べ男子は1.1ポイント、女子は0.7ポイント低下した。

図26 高等学校卒業生数、大学等進学率及び就職率の推移

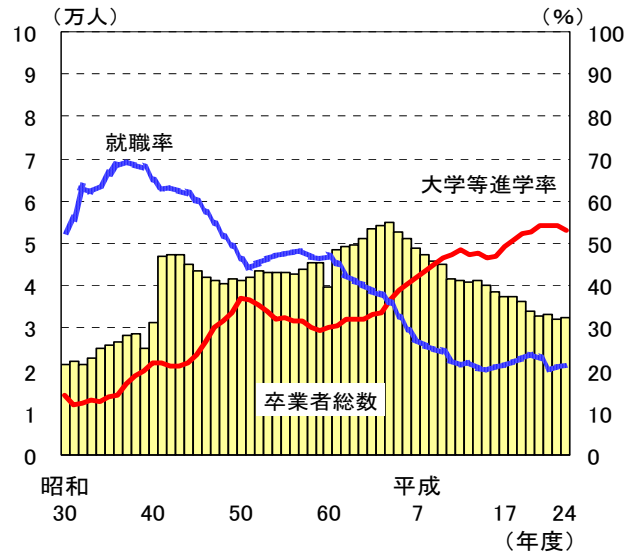


図27 高等学校卒業生の進路別内訳

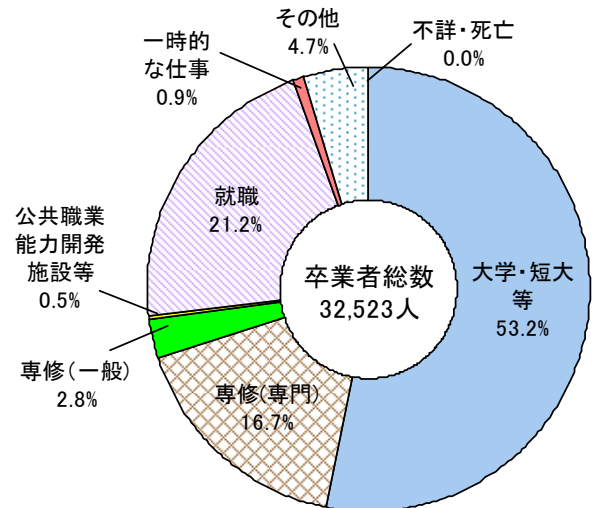
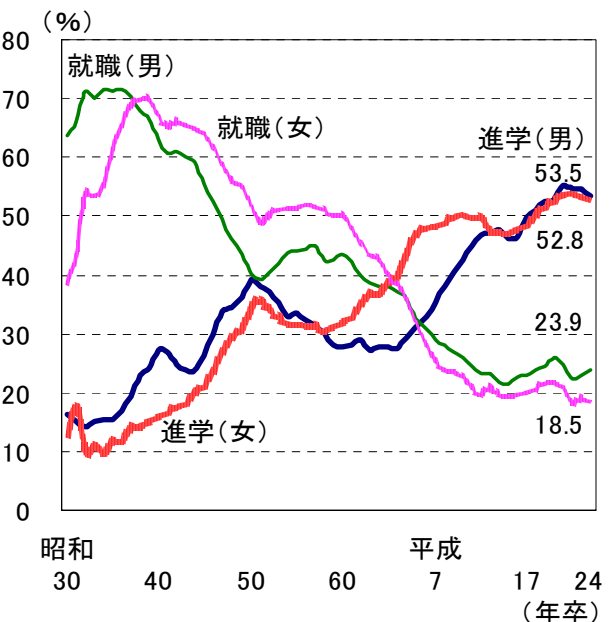


図28 男女別大学等進学率、就職率の推移



(2) 大学等進学者及び大学等進学率

- 大学等進学者のうち、大学学部及び短期大学本科への進学者数は 17,278 人で、前年に比べ 73 人増加した。

- 大学学部への進学者数は 15,693 人(男 8,782 人、女 6,911 人) で、前年に比べ 197 人増加し、全卒業者に占める割合は 48.3%となっている。

- 短期大学本科への進学者数は 1,585 人(男 100 人、女 1,485 人) で、前年に比べ 124 人減少した。全卒業者に占める割合は 4.9%となっている。

- 男子の大学学部への進学率は 52.9%で、前年に比べ 0.9 ポイント低下した。一方、短期大学本科への進学率は 0.6%で、前年に比べ 0.1 ポイント低下した。

- 女子の大学学部への進学率は 43.4%で、前年に比べ 0.2 ポイント上昇した。一方、短期大学本科への進学率は 9.3%で、前年に比べ 0.9 ポイント低下した。

(3) 大学等への志願者数及び志願率

- 大学学部及び短期大学本科への志願者数(過年卒業者を除く)は 19,036 人(男 10,057 人、女 8,979 人) で、前年に比べ 17 人増加した。

- 大学学部への志願者数は 17,372 人(男 9,930 人、女 7,442 人) で、前年に比べ 137 人増加した。

図29 男女別大学、短大進学率の推移

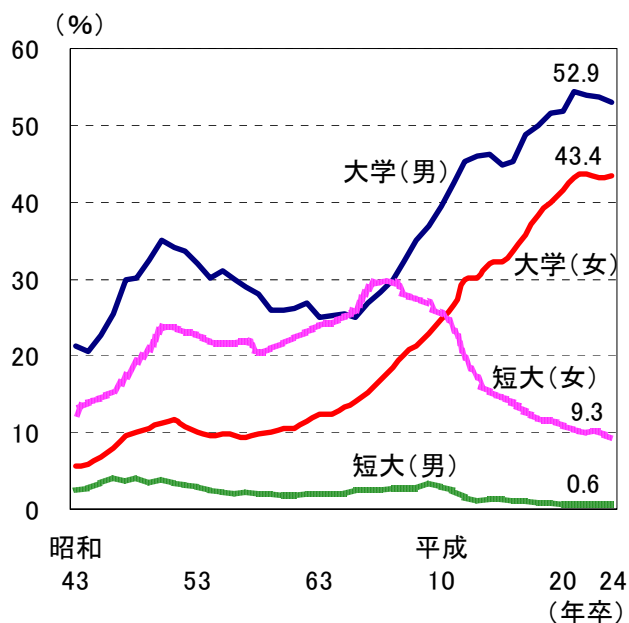
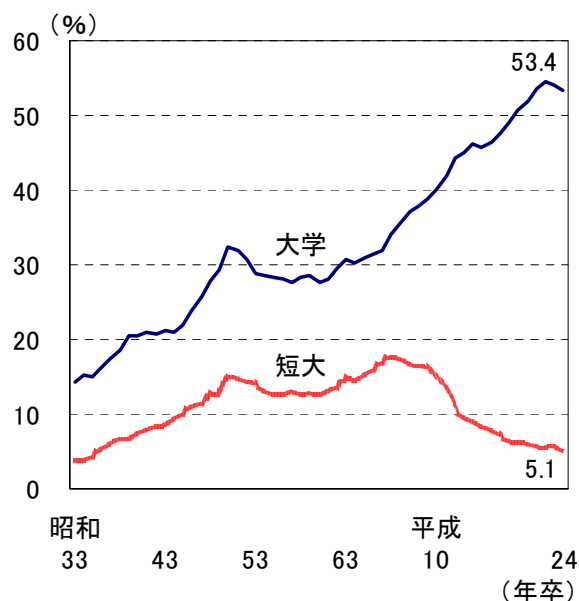


図30 大学学部、短大本科への志願率の推移



- 短期大学本科への志願者数は1,664人（男127人、女1,537人）で、前年に比べ120人減少した。

- 本年3月卒業者の大学学部及び短期大学本科への志願率は、それぞれ53.4%、5.1%で、前年に比べ、大学は0.7ポイント、短期大学は0.5ポイント低下した。

(4) 就職者及び就職率

- 就職率は21.3%（男23.9%、女18.5%、全国16.8%）で、前年に比べ0.3ポイント上昇した。

- 就職者数を産業別にみると、製造業が3,663人（全体の53.0%）で最も多く、次いで医療・福祉596人（同8.6%）、卸売業・小売業554人（同8.0%）、宿泊業・飲食サービス業384人（同5.6%）、建設業329人（同4.8%）、運輸業・郵便業307人（4.4%）の順となっている。

- 職業別にみると、生産工程従事者が3,648人（全体の52.8%）で最も多く、次いでサービス職業従事者1,206人（同17.4%）、事務従事者665人（同9.6%）、販売従事者479人（同6.9%）の順となっている。

- 就職者総数のうち、県外へ就職した者は418人（男293人、女125人）で就職者総数の6.0%（全国18.6%）を占め、前年に比べ0.8ポイント低下した。

- 県外就職者の都道府県別就職先は、愛知県が142人、次いで東京都107人、神奈川県89人の順になっている。

図31 産業別就職者の内訳

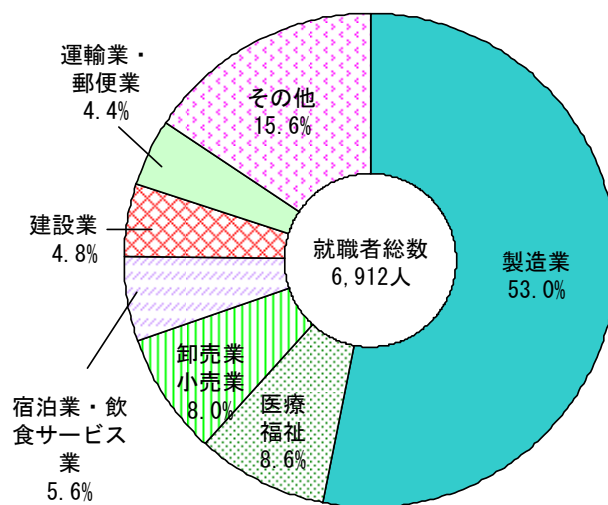
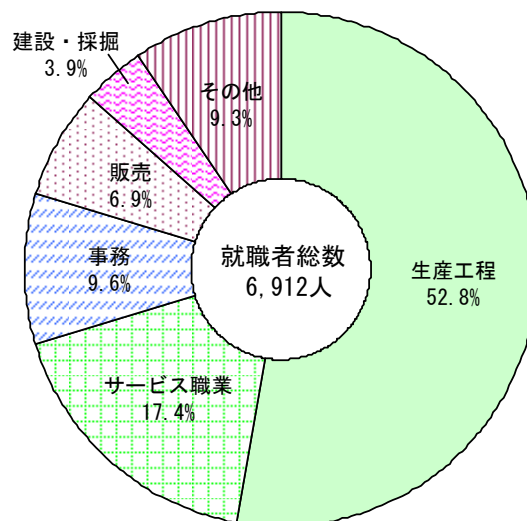


図32 職業別就職者の内訳



(通信制)

- ・平成23年度間の卒業生数は271人（男109人、女162人）で、前年度間に比べ9人減少した。
- ・進路別にみると、大学等進学者が38人（全体の14.0%）、専修学校（専門課程）進学者36人（同13.3%）、専修学校（一般課程）進学者3人（同1.1%）、公共職業能力開発施設等進学者1人（同0.4%）、就職者60人（同22.1%）、その他133人（同49.1%）となっている。

3 特別支援学校卒業後の状況

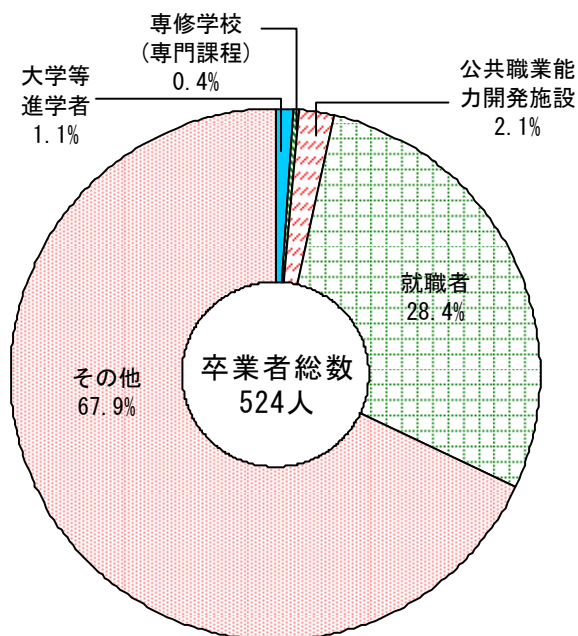
(1) 中学部の進路別卒業生数

- ・平成24年3月の中学部卒業生数は332人となっている。
- ・高等学校等進学者は317人で、高等学校等進学率は95.5%となっている。

(2) 高等部の進路別卒業生数

- ・平成24年3月の高等部卒業生数は、524人となっている。
- ・大学等進学者は6人で、大学等進学率は1.1%となっている。
- ・就職者数は149人で、就職率は28.4%となっている。

図33 高等部卒業生の進路別内訳



[不就学学齡児童生徒調査]

1 就学免除者

- ・ 就学免除者は、学齡児童（6～11歳）1人、学齡生徒（12～14歳）0人で、前年に比べ2人減少した。

2 就学猶予者

- ・ 就学猶予者は、学齡児童19人、学齡生徒13人の計32人で、前年に比べ6人増加した。

3 1年以上居住不明者

- ・ 1年以上居所不明者は、学齡児童10人、学齡生徒1人の計11人で、前年に比べ5人増加した。

4 学齡児童生徒死亡者

- ・ 平成23年度間に死亡した者は、学齡児童8人、学齡生徒4人の計12人で、前年度間に比べ1人減少した。

[学校施設調査]

1 学校建物面積

- ・ 私立学校の建物面積は1,247,277 m²（設置者所有1,232,437 m²、借用14,840 m²）で、前年度に比べ2,842 m²減少した。
- ・ 私立学校の設置者所有建物を構造別にみると、木造2.2%、鉄筋コンクリート造60.5%、鉄骨造その他37.3%となっている。
- ・ 公立の専修学校の建物面積は47,691 m²（設置者所有47,620 m²、借用71 m²）で、前年度と同じであった。
- ・ 公立の専修学校の設置者所有建物を構造別にみると、鉄筋コンクリート造が71.9%、鉄骨造その他28.1%となっている。

2 学校土地面積

- ・ 私立学校の土地面積は3,153,071 m²（設置者所有2,577,085 m²、借地575,986 m²）で、前年度に比べ11,194 m²減少した。
- ・ 公立の専修学校の土地面積122,574 m²（設置者所有99,269 m²、借地23,305 m²）で、前年度に比べ894 m²増加した。